

実習を通して学んだこと

5月23日から3週間、村上総合病院で総合臨床学の臨床実習をさせていただきました。病院のスタッフの皆さんが親切にしてくださったおかげで、とても楽しく、充実した実習になりました。

実習では消化器内科を中心に、様々な診療科の先生にご指導いただき、沢山のことを学ぶことができました。外来では問診・診察を行い、鑑別診断や今後どのような検査を行うかを自分で考える実践的な実習を行うことができました。問診では、その時は聞けることは全て聞けたらと思うつもりでも、その後カルテを記載している時にあれも聞いておけばよかった、と質問が沢山思い浮かんできたことがありました。問診の難しさと自分の未熟さを感じましたが、もっと成長したいと思うきっかけを作ることができ、貴重な経験となりました。また、村上総合病院では、病棟看護、検査科や放射線科、栄養科、地域連携支援センターなど、他職種の方々の業務を見学させていただく機会がありました。これらの実習を通して、病院は医師だけでなく沢山の職種の方々に支えられているのだと知り、改めて多職種連携の大切さを実感しました。

今回の実習で得た経験を忘れずに、これからも日々精進していきたいと思えます。

お忙しい中、親身になって指導して下さいました先生方、スタッフの皆様に感謝申し上げます。